

平成 24 年度川崎市起債運営アドバイザー・コミッティ報告書  
(平成 25 年 3 月)

正誤表

第 3 章 A L Mを踏まえた基金運用に係るポートフォリオの構築

訂正箇所	誤	正
71 ページ 上から 10 行目	<u>A</u> -S の方が <u>B</u> -S よりも	<u>B</u> -S の方が <u>A</u> -S よりも
71 ページ 上から 11 行目	<u>A</u> -S の方が <u>B</u> -S よりも	<u>B</u> -S の方が <u>A</u> -S よりも
71 ページ 上から 12 行目	<u>A</u> -S の方が <u>B</u> -S よりも	<u>B</u> -S の方が <u>A</u> -S よりも
71 ページ 上から 14 行目	評価損益額は	評価損益額 <u>の差</u> は
71 ページ 上から 16 行目	<u>A</u> -S の方が <u>B</u> -S よりも	<u>B</u> -S の方が <u>A</u> -S よりも
71 ページ 上から 21 行目	<u>・</u> その結果、・・・	<箇条書きにせず、前の文章に続ける。>
71 ページ 上から 23 行目	以上の結果から、減債基金 B・S の方が A・S よりも優れていることが確認される。	以上の結果から、 <u>利金収入と評価損益</u> でみると減債基金 B・S の方が A・S よりも優れているが、 <u>金利リスクは高い</u> ことが確認される。